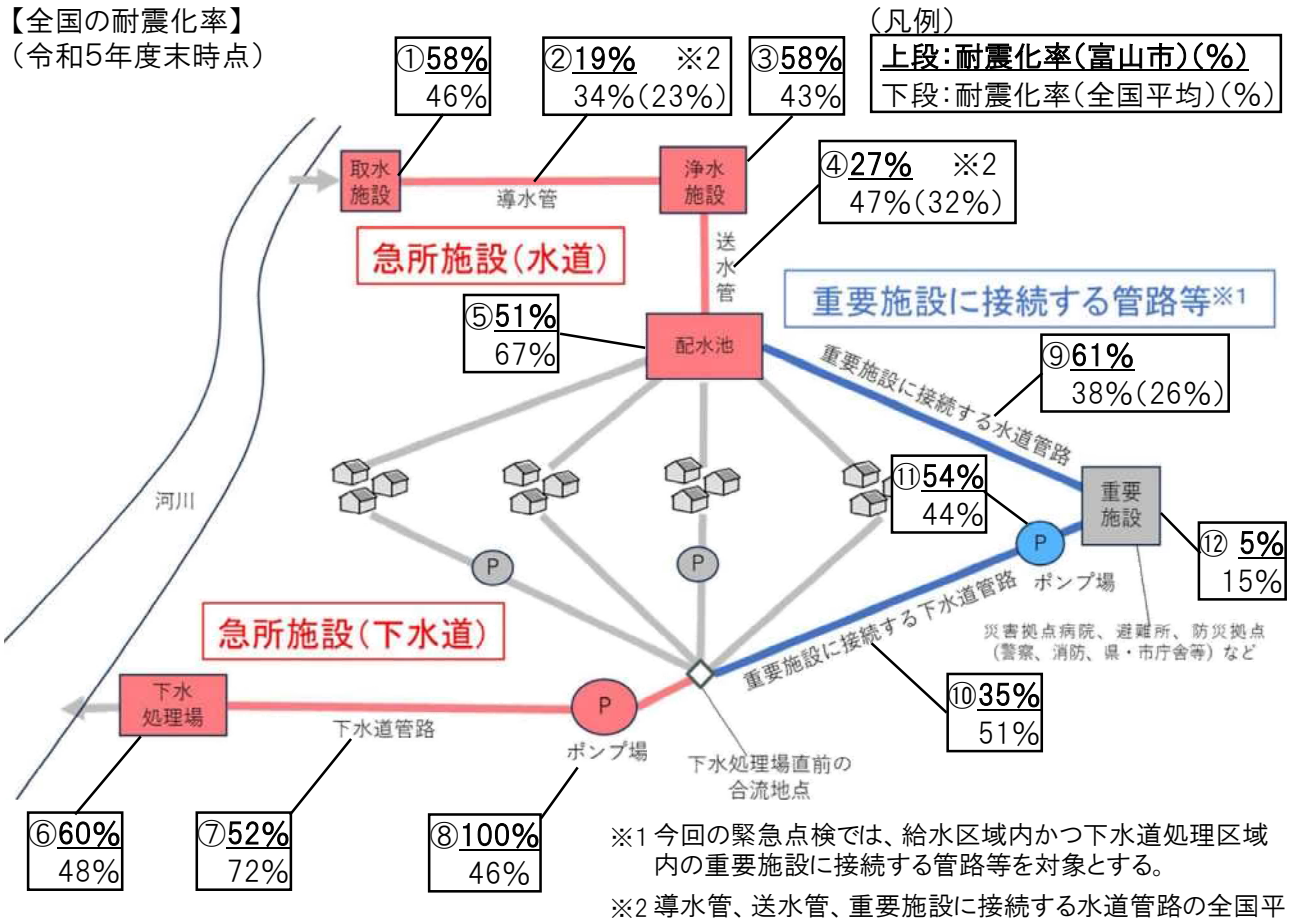
上下水道施設の耐震化状況の緊急点検結果（概要）

○ 能登半島地震の教訓を踏まえ、上下水道システムの「急所施設」（その施設が機能を失えばシステム全体が機能を失う最重要施設）や避難所などの重要施設に接続する上下水道管路等の耐震化状況について、緊急点検を実施しました。

○ 各施設の耐震化率は、下図に示すとおり全体的に低い水準に留まっており、耐震化が十分でないことが改めて確認されました。

【全国の耐震化率】
（令和5年度末時点）



※1 今回の緊急点検では、給水区域内かつ下水道処理区域内の重要施設に接続する管路等を対象とする。

※2 導水管、送水管、重要施設に接続する水道管路の全国平均の耐震化率は、耐震管以外に地盤性状によって耐震適合性を有する管を含めた割合。（）内は耐震管の割合を示す耐震管率。富山市の耐震化率は耐震管率を示す。

●上下水道システムの急所施設

（耐震化率：%）

区分		全国平均	富山市	差
水道	①取水施設	46	58	12
	②導水管	34	19	▲ 15
	③浄水施設	43	58	15
	④送水管	47	27	▲ 20
	⑤配水池	67	51	▲ 16
下水道	⑥下水処理場	48	60	12
	⑦下水道管路	72	52	▲ 20
	⑧ポンプ場	46	100	54

●重要施設に接続する水道・下水道の管路等

（耐震化率：%）

区分	全国平均	富山市	差
⑨水道管路	38	61	23
⑩下水道管路	51	35	▲ 16
⑪汚水ポンプ場	44	54	10

区分	全国平均	富山市	差
⑫上下ともに接続管路が耐震化済みの割合（%）	15	5	▲ 10